

野洲市民病院整備事業

要求水準書（案）等について

市立野洲病院

令和5年5月

0. 目 次

1. 受注者選定について	P2	5. 要求水準書（案）について	P16
1.1. 発注手法等について	P3	5.1. 要求水準書（案）等の構成について	P17
1.2. 発注資料について	P4	5.2. 要求水準書（案）について	P18
1.3. 発注フローについて	P5	5.3. 諸元表（案）について	P23
2. 入札説明書（案）について	P6	6. 参考資料	P29
2.1. 入札説明書（案）について	P7	6.1. マーケティングの結果について	P30
3. 落札者決定基準（案）について	P9	6.2. 収支について	P33
3.1. 落札者決定基準（案）について	P10	6.3. 各種準備事業について	P37
3.2. 総合評価方法について	P11		
4. 契約書（案）について	P14		
4.1. 契約書（案）について	P15		

1.受注者選定について

2

1. 受注者選定について

1.1. 発注手法等について

発注手法 : 基本設計デザインビルド方式

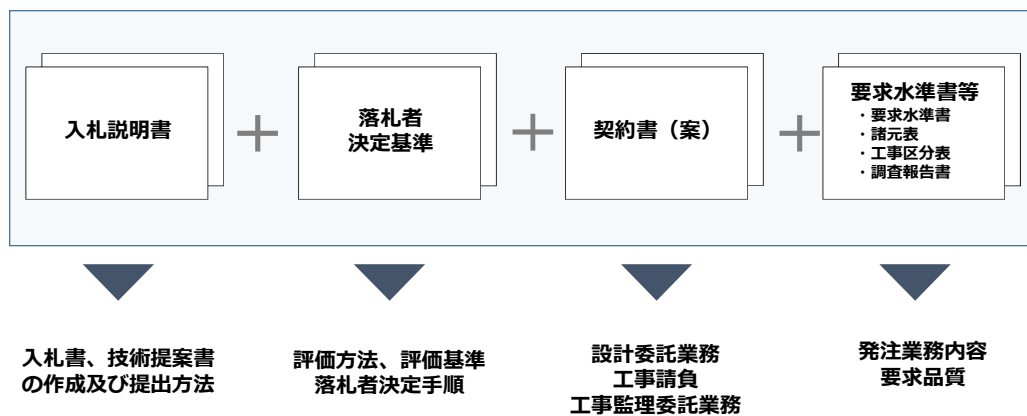
入札方式 : 総合評価方式による一般競争入札

事業者選定期間 : 令和5年6月1日～令和5年11月上旬

3

1. 受注者選定について

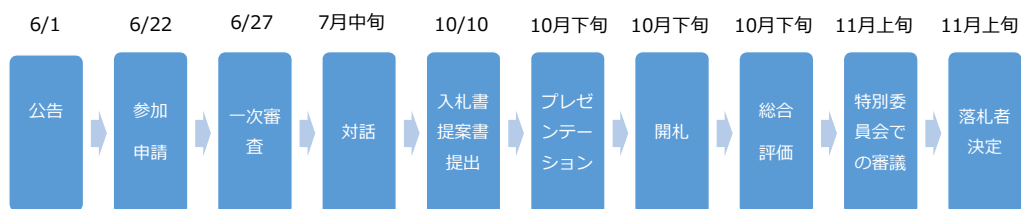
1.2. 発注資料について



4

1. 受注者選定について

1.3. 発注フローについて



5

2.入札説明書（案）について

6

2. 入札説明書（案）について

2.1. 入札説明書（案）について

事業の概要について

事業内容 : 調査業務、設計業務、申請業務、工事、工事監理業務

工 期 : 事業契約締結日から令和8年11月30日
(※4週8閉所で実施)

予定価格 : 9,670,000,000円 (消費税地方消費税を含む)
(※設計・工事監理費含む)

7

2. 入札説明書（案）について

参加要件について

応募者の構成

- ①単独企業 ②特定建設工事共同企業体（特定JV） ③建設企業と設計企業のグループ
 ④特定建設工事共同企業体（特定JV）と設計企業のグループ
 ⑤建設企業と設計共同體(設計JV)のグループ
 ⑥特定建設工事共同企業体（特定JV）と設計共同體JV(設計JV)のグループ

区分	対象	建築士法又は建設業法による許可・登録	令和5年度野洲市建設工事等入札参加資格	実績(構造種別問わず必要)	免震構造を提案した場合は左記の実績に加え以下の実績も必要
企業	設計業務 (代表構成員)	一級建築士事務所の登録	測量・建設コンサルタントの建設関係建設コンサルタントの「建築一般」の登録を受けている者 ※工事を行う者の場合は(建設工事)	過去15年間に以内に設計が完了した一般病床を保有する延床面積12,000㎡以上の病院の新築、又は、増改築の基本設計及び実施設計の業務を主契約者として受注した実績	用途・規模に関わらず免震構造の設計の実績
	工事 (代表構成員)	特定建設業の許可 一級建築士事務所の登録 (設計企業又は設計JVとグループを組成する場合)	「建築一式工事」の登録を受けている者	過去15年間に以内に竣工引渡し完了した一般病床を保有する延床面積12,000㎡以上の病院の新築、又は、増改築の工事完了の実績	用途・規模に関わらず免震構造の工事の実績
	工事監理業務 (代表構成員)	一級建築士事務所の登録	測量・建設コンサルタントの建設関係建設コンサルタントの「建築一般」の登録を受けている者 ※工事を行う者の場合は(建設工事)	過去15年間に以内に工事監理が完了した一般病床を保有する延床面積12,000㎡以上の病院の新築、又は、増改築の工事監理の実績	用途・規模に関わらず免震構造の工事監理の実績

8

3. 落札者決定基準（案）について

9

3. 落札者決定基準（案）について

3.1. 落札者決定基準（案）について

落札者決定基準（案）は、この事業の落札者を決定する際に病院の設計及び工事に関する高度な技術を有し、品質と価格が総合的に優れた内容で実施することができる者を選定するための基準を示す資料となります。

■受注者選定に係る委員会について

総合評価落札方式により落札者を決定するにあたり、学識経験者、医療関係者等により構成される「選定委員会」を設置します。その委員会にて入札参加者の技術提案について審査を行い、その結果を病院事業管理者に報告します。

■選定委員（6名を予定）について

野洲市民病院整備事業等審議会の委員から委員長が指名した者（3名）
病院事業管理者が適当とした者（3名）

10

3. 落札者決定基準（案）について

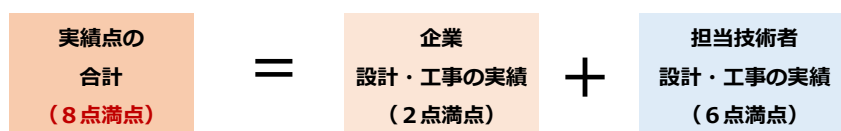
3.2. 総合評価方法について

総合評価点は、「第二次審査（実績審査）」にて算出した実績点と「第二次審査（提案審査）」にて算出した技術提案点に、「開札」にて算出した価格点を加えた合計点とし、最も総合評価点が高い参加者を野洲市民病院整備事業特別委員会の審議結果を踏まえ、落札者として決定します。

総合評価点（満点 100.00 点）

= 実績点（8.00 点） + 技術提案点（62.00 点） + 価格点（30.00 点）

■実績点の評価方法について



※詳細な評価基準は、落札者決定基準（案）を参照して下さい。

11

3. 落札者決定基準（案）について

■ 技術提案点の評価方法について

提案テーマ ① 事業への取組

業務実施方針、取り組み体制

= 5点満点

提案テーマ ② 新病院の品質

隣接施設や周辺地域に配慮した病院、患者・家族にやさしい病院、職員が働きやすい病院
感染症に配慮した病院、可変性への対応、品質管理

= 30点満点

提案テーマ ③ 災害対策とライフサイクルコスト縮減・アフターサービス

災害時の対応した病院、ライフサイクルコスト削減に関する技術的提案、
竣工後のアフターサービス

= 10点満点

提案テーマ ④ 工程管理、⑤ コスト管理、⑥ 施工計画、⑦ 地域貢献

= 14点満点

提案テーマ ⑧ プレゼンテーション・ヒアリング

= 3点満点

合計
62点満点

12

3. 落札者決定基準（案）について

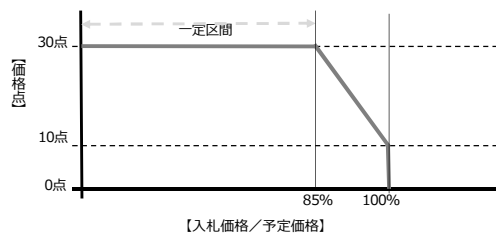
■ 価格点の評価方法について

プレゼンテーション、技術提案点の評価後に開札をおこない価格点を算出します。価格点は30点満点となります。

（予定価格以下であれば、標準点として10点は付与）。予定価格を超える金額で入札した者は失格とします。

価格点算出方法は下記通りです。

価格点	(1) 【入札価格 ≤ 予定価格の 85%】 の場合 価格点：30点とする。
	(2) 【①予定価格の 85% < 入札価格 ≤ ②予定価格の 100%】 の場合 【①価格点：30点】と【②価格点：10点】を通る直線式により算出される以下の y の値を価格点とする。 価格点算定式 $y = 20 \times (1 - x / 0.15) + 10$ x：(入札価格/予定価格 - 0.85)



【例】 入札価格が 91.7 億の場合

$$x = (91.7 / 96.7 - 0.85) = 0.0983$$

$$y = 20 \times (1 - 0.0983 / 0.1500) + 10 = 16.89 \text{点} \rightarrow 16.89 \text{点}$$

13

4.契約書（案）について

14

4. 契約書（案）について

4.1. 契約書（案）について

■ 契約約款について

落札者決定後に整備事業に係る契約を締結します。その事業契約の約款は、野洲市が建設工事と建設工事関連委託業務契約で使用している建築設計委託業務約款、工事監理委託業務約款、建設工事請負業務約款を準用します。

■ 物価変動への対応について

- ・ 設計業務期間中も賃金または物価の変動に基づく請負代金額の変更に対応します。
- ・ 物価水準の変動を確認する起点日は公告日とします。
- ・ 一般財団法人建設物価調査会の指数や刊行物に掲載されている単価の変動率を用いて設定します。

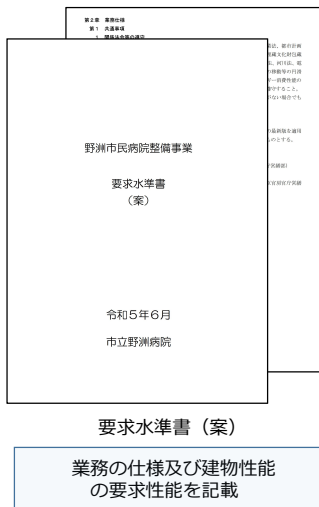
15

5.要求水準書（案）について

5. 要求水準書（案）について

5.1. 要求水準書等の構成について

要求水準書、調査報告書（測量・地質調査等）、諸元表、工事区分表等から構成されています。



諸元表（案）
部門、部屋毎に求める
要求性能を記載

5. 要求水準書（案）について

5.2. 要求水準書（案）について

要求水準書は、**受注者が本事業を実施するにあたり**、本事業の適切かつ確実な実施を図ることを目的として、**市立野洲病院が要求する内容及び品質の、最低限の水準**を定めるものとなります。

調査業務、設計業務、許可申請、施工業務、工事監理業務の**業務仕様及び実施条件**や、建物に求めるべき性能のうち、**施設規模、建築計画、構造、設備等の要求仕様**を記載しております。

■ 施工業務の実施条件について

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会中及び準備・片付け等の期間は、工事中等当該大会事業に対し、**蔽に影響を与えない方策を講じる**こと。また大会中は特に工事ヤード、仮設等に関して安全性に配慮した計画とすること。なお大会の日程は下記のとおり。（全体で約2ヶ月）

■ 公開競技

武術太極拳 : 令和7年8月30日（土）～ 8月31日（日）

■ 国民スポーツ大会

卓球 : 令和7年9月28日（日）～ 10月2日（木）

バスケットボール : 令和7年10月4日（土）～ 10月7日（火）

■ 全国障害者スポーツ大会

卓球 : 令和7年10月25日（土）～ 10月27日（月）

5. 要求水準書（案）について

■ 施設全体の基本方針について

- ・ 外来、患者支援と入院の**連続的な管理運営体制を構築**する。
- ・ **成長と変化に対応**できる施設とする。
- ・ 会議室、談話スペース等を配置し**部門間、職種間のコミュニケーション、コラボレーションを活性化**させる。また市民公開講座としても活用できること。
- ・ 情報通信技術、物流等の基幹機能は**先端的な技術を積極的に導入**する。
- ・ **地域の人材育成並びに情報発信・広報機関の強化**をおこなう。
- ・ 利用者の**安心・安全、新たな街づくりに配慮**した心地よく満足度の高いアメニティ環境を整備する。
- ・ **高品質、高性能な施設**を目指すとともに環境負荷の低減に配慮する。

5. 要求水準書（案）について

■ 施設規模に関する要求性能について

項目	要求性能
延床面積	14,850㎡以上とすること
各諸室面積	諸元表記載の面積以上とすること
建築物の高さ	提案によるものとする

■ 建築計画に関する要求性能について

項目	要求性能
アプローチ計画	高齢者、車椅子利用者も利用しやすい計画とすること
断面計画	設備のメンテナンス、更新性に配慮した計画とすること
仕上げ計画	安全性、メンテナンス性、清掃性に配慮した仕様とすること

20

5. 要求水準書（案）について

■ 構造に関する要求性能について

基本方針：災害発生時において、市民病院として求められる医療機能を十分に発揮できる構造計画とする。地震災害直後から構造体の補修をすることなく建物を使用でき、人命の安全確保に加えて十分な機能確保を図る。

項目	要求性能
構造種別・計画	提案によるものとする
耐震設計	構造体はI類、建築非構造部材はA類、建築設備については甲類とすること
基礎構造	地震時に病院機能確保と十分な安全確保できるように、地質調査結果を基に設定すること
液状化対策	液状化が想定される場合は、病院棟に加え、付属棟、設備トレンチ等インフラ引込下部は大地震時においても液状化が生じない等の対策をして、病院機能及び災害対策活動に支障が生じないようにすること

21

5. 要求水準書（案）について

■設備に関する要求性能について

基本方針：ライフサイクルCO₂（LCCO₂）低減を図ること。太陽光発電、太陽熱利用、雨水利用及び排熱利用等自然エネルギーについては、コスト上のメリット・デメリット等を総合的に判断して計画する。

項目	要求性能
非常用発電機設備	連続運転時間は72時間以上とすること
換気設備	排熱の熱回収を検討するなど、省エネルギー化を図ること
給水設備	災害時の備蓄として非常時における3日分を備蓄できる計画とすること
〃	井水を上水として利用できるシステムを計画すること
排水設備	非常用排水貯留槽を設け、最低限の排水機能を3日間以上維持すること

22

5. 要求水準書（案）について

5.3. 諸元表(案)について

諸元表は各部門毎、各諸室毎の要求仕様を記載しております。記載項目は、**室数、室面積及び諸室の位置関係や動線**に関わる要求仕様等を記載しており又、**各諸室に設けるべき設備**も一覧としてまとめている資料となります。入札参加者はこの諸元表を基にプランの提案をおこなうこととなります。

健診センター 諸元表（例）

必要諸室		全般			
部門名	諸室名	面積		備考	施設要求水準（主に諸室位置関係・出入口・動線に関する事）
		室数	規模㎡		
<small>① 婦人科外来・内視鏡部門・放射線部門との連動・配置（内視鏡検査は内視鏡部門、CT-MRIは放射線部門等で行う） ② 院内からの受診者動線、来院患者動線とできる限り存在しないように配慮する。 ③ 受診者が健診センターに迷わず移動することができるように、動線や案内に配慮する。</small>					
	待合ホール	1	50	50	①30～35人程度が余裕を持って待つことができるスペースを確保する
	通路	1	適宜		
	食事室	1	16	16	①10人程度が余裕を持って待つことができるスペースを確保する ②集団指待室と兼用で活用する

室数、室面積及び諸室の位置関係や動線に関わる要求仕様（例）

電気設備												
電話	TV	患者用出力	インターネット	医療機器用配電	その他	LAN		コンセント		照明設備		
						有線	無線	一般用	特殊用	非常用	調光	その他
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

各諸室に設けるべき設備（例）

23

5. 要求水準書（案）について

■手術室部門について

手術室については、次の3室を設けることとします。

手術室① 内法 8.0m×9.0m 空気清浄度class100 (BCR)
手術室② 内法 7.0m×7.0m 空気清浄度class10,000
手術室③ 内法 7.0m×6.0m 空気清浄度class10,000

近年は手術に必要な医療機器が増えている傾向があり、将来的な対応ができるなど汎用性を持たせることができるようサイズの違う3室を設けます。

【参考】市立野洲病院に手術室

手術室① 内法 4.8m×7.8m (BCR)
手術室② 内法 4.8m×7.8m
手術室③ 内法 4.5m×5.0m

①中軽症の急性期患者の入院、退院への対応

高齢化に伴い今後増加することが予測される中軽症の患者の入退医療や外来医療の提供を行い、身近な場所で必要な医療を受けることができる環境をつくります。

※基本構想・基本計画書 「野洲市民病院が目指す病院像」より

24

5. 要求水準書（案）について

■リハビリテーション部門について

リハビリテーション部門については、全体で800㎡程度を確保します。

理学療法室（作業療法室、心臓リハビリ室含む）：1室 600㎡ 14m程度の歩行訓練ができるスペースを設ける。
言語療法室：3室 各10㎡
診察室：1室 10㎡
心理面接室：1室 8㎡

※その他待合、受付、スタッフルーム、カンファレンス室、器材庫、多目的トイレを整備

現病院のリハビリテーション部門の約3倍の面積を確保することで、新しいリハビリ機器の導入や受け入れ患者の拡充を目指します。市民の機能低下予防・回復、社会復帰の支援確立を図ります。

④市民が健康であり続けるための疾病予防やリハビリテーション医療の充実

健診事業や、行政機関等と連携した健康維持・介護予防のための教育・啓発活動などを充実させ、市民の健康を守り続けます。また、急性期医療を受けられた後の回復期医療が必要となる患者を積極的に受け入れ、患者の早期機能回復や社会復帰を支援します。

※基本構想・基本計画書 「野洲市民病院が目指す病院像」より

25

5. 要求水準書（案）について

■ 外来部門について

外来診察室については、次のとおり確保します。

外科・皮膚科・脳神経内科	： 3室	（処置室は2室で、1室は皮膚科用）
内科	： 6室	（処置室は1室）
整形外科	： 3室	（処置室は2室で、ギブス室は1室）
泌尿器科	： 1室	（処置室・検査室は1室ずつで、放射線部門が隣接しない場合はTV検査室確保）
小児科	： 2室	（処置室・感染待合を1室ずつ）
婦人科	： 1室	（内診室は1室） > 授乳室を近接
眼科	： 1室	（処置室・明室・暗室を1室ずつ）
耳鼻咽喉科	： 1室	（処置室を1室）
看護外来	： 1室	

なお、エントランスルームや待合は災害時にトリアージ・処置等ができる場所としても想定します。
感染用診察室は1室を別のエリアで設けます。



- ① 中軽症の急性期患者の入院、退院への対応
高齢化に伴い今後増加することが予測される中軽症の患者の入退医療や外来医療の提供を行い、身近な場所が必要な医療を受けることができる環境をつくります。
- ⑤ まさかのとき（災害・新興感染症拡大時）に市民の安全・安心を支える役割
災害発生時や新興感染症拡大時に、野洲市として求められる医療を提供し続けることができる病院をつくります。

※基本構想・基本計画書 「野洲市民病院が目指す病院像」より抜粋

26

5. 要求水準書（案）について

■ 病棟部門について

病床については199床を確保します。病棟構成については、次のとおりです。

急性期病棟（外科系）	： 30床	（個室率30%以上とし、50%を目指す）
急性期病棟（内科系）	： 30床	（個室率30%以上とし、50%を目指す）
維持期病棟	： 40床	（一定数の個室を設けることとし、具体的な数は提案による）
回復期病棟	： 50床	（一定数の個室を設けることとし、具体的な数は提案による）
地域包括ケア病棟	： 49床	（一定数の個室を設けることとし、具体的な数は提案による）

感染症拡大時でも医療を提供が可能な病院とするため、感染対応個室を整備するとともに、感染専用入口・外来を計画することで、院内搬送ルートを確認します。



- ⑤ まさかのとき（災害・新興感染症拡大時）に市民の安全・安心を支える役割
災害発生時や新興感染症拡大時に、野洲市として求められる医療を提供し続けることができる病院をつくります。

※基本構想・基本計画書 「野洲市民病院が目指す病院像」より抜粋

27

5. 要求水準書（案）について

■ 管理部門について

現在不足している会議室や応接室、相談室、職員食堂を次のとおり設けることとします。

会議室（40人収容）	： 70㎡×1室	＞ 移動間仕切りを設置して1室利用を可能とする。講座開催等の一般利用も想定。
会議室（20人収容）	： 40㎡×2室	
会議室（10人収容）	： 20㎡×3室	
会議室（5人収容）	： 10㎡×3室	WEB会議等にも対応
応接室	： 40㎡×1室	管理職の部屋の付近に設ける。幹部会議での利用も想定。
相談室	： 10㎡×2室	人事、業者、その他の面談も想定。
職員食堂	： 60㎡×1室	会議室（20人収容）と移動間仕切りで隣接させる。 最大100人程度収容できる職員ラウンジとしての利用も想定。



⑥ 職員が働きやすい病院

- ・ 職員のリフレッシュやコミュニケーションが図りやすい施設づくり
- ・ 教育、研修のための諸室確保、オンライン会議の増加に対応した環境に配慮

※基本構想・基本計画書 「施設整備方針 基本的な考え方」より

6. 参考資料

6.1. マーケットサウンディングの結果について

6.2. 収支について

6.3. 各種準備事業について

6.参考資料

6.1. マーケットサウンディングの結果について①

実施日時：令和5年3月10日（金）及び令和5年3月13日（月）
実施場所：コミセンやす及び市役所本庁

項目		参加者の意見の傾向
公募条件	参加事業者の形態	・建設企業と設計企業のグループを希望する意見が多かった。
	特定JVの構成員数	・特定JVを希望せず、単独での参加を希望する意見が多数であったが、特定JVを希望する意見もあった。
	特定JVの組成期間	・特定JVを希望せず、単独での参加を希望する意見が多数であった。
	特定JVの出資比率	・特定JVを希望せず、単独での参加を希望する意見が多数であった。
	実績の条件（事業者）	・施工実績として、過去10年又は15年で、本計画と同規模又は80%程度の規模の病院とすることを希望する意見が多かった。
	実績の条件（技術者）	【設計技術者】 ・各技術者全般を通じて、資格要件は設定しても問題ないが、実績要件は極力緩和することを希望する意見が多かった。 ・特に、構造、電気、機械の技術者は、病院の実績要件無しを希望する意見が多かった。 【施工技術者】 ・各技術者全般を通じて、資格要件は設定しても問題ないが、実績要件は極力緩和することを希望する意見が多かった。 ・特に、電気、機械の技術者は、病院の実績要件無しを希望する意見が多かった。
その他（公募条件に関わるその他要望等）	・経営事項審査の総合評定値（建築一式工事）については、1500点以上を希望する意見が多かったが、1800点以上を希望する意見もあった。 ・総合評価による選定を希望し、提案点と価格点の割合は、提案点:価格点=7:3~6:4程度を希望する意見が多かった。 ・予定価格及び最低制限価格の事前公表を求める意見が多かった。 ・地元企業が参画することによる加点評価を希望しない意見が多かった。	

30

6.1. マーケットサウンディングの結果について②

項目		参加者の意見の傾向
工事費	事業費	・建設事業費は、現時点の市況を考慮した場合、契約時において92.3億円（税込）つまり62.2万円/m ² （税込）の予算は妥当であるという意見が多かった。
	昨今の建設物価状況 今後の建設物価予測	・資材単価については、鉄関係などについて一部鈍化は見られるものの、全般を通じて今後も上昇傾向にあるという意見が多かった。 ・労務単価についても、上昇傾向にあるという意見が多かった。 ・電気、機械のサブコントラクターについては、現状は確保が困難な状況が続いており、今後も続くことが予想されるという意見が多かった。
工期	工期の妥当性	・設計期間は、基本設計8ヶ月・実施設計8ヶ月で対応可能という意見が多かった。 ・工事期間は、実働18ヶ月+国体期間3ヶ月（工事中止期間）では、ギリギリ対応可能という意見と、1~3ヶ月程度不足するという意見の双方があった。 ・工事期間は4週8開所の条件を想定した意見であった。
	工期に影響が出そうな条件	・資材調達に影響が出そうなものとしては、鉄骨、ボルト、鉄筋、杭、半導体関連機器、免震装置という意見があった。 ・各資材の調達期間は下記の通りの意見であった。 鉄骨：6~14ヶ月 免震装置：7~8ヶ月 半導体関連機器：12ヶ月程度 ・電気、機械のサブコントラクターについては、現状は確保が困難な状況が続いており、今後も続くことが予想されるという意見が多かった。
参加意欲	参加しやすくなる条件	・意見の傾向は無し
	参加しにくくなる条件	・意見の傾向は無し

31

6.1. マーケットサウンディングの結果について③

項目	参加者の意見の傾向
提案書作成等必要な期間	・ 公告から入札及び提案書提出までの期間は、4ヶ月～6ヶ月を希望するという意見が多かった。
物価スライド条項 適用事例や要望	・ 設計中も含めた物価スライド条項の適用と、明確化を希望する意見が多かった。 ・ 物価スライドの起算日に公告日を希望する意見が多かった。
地盤の状況	・ 公開されたボーリングデータより、GL-10m付近から比較的N値の安定した砂礫層が出現することから、同層を支持地盤とした杭基礎が妥当であるという意見があった。 ・ 軟弱地盤を理由に建設出来ないという意見は無なかった。 ・ 杭基礎構造を選択するという意見が多かった。 ・ 表層の液状化については、現在公開されている情報だけでは判断が難しく、工法決定等のために、調査結果の開示・公告を待つとする意見が多かった。
高圧線による工事への影響	・ 杭打機やクレーンなどの重機における揚重作業について、高圧線との干渉の危険性が一部あるため、配慮が必要であるとの意見が多かった。
免震構造	【工事費】 ・ 2～8億円、或いは工事費全体の7～10%程度のコストアップという意見があった。 【スケジュール】 ・ 下記の通りの延長が想定されるという意見があった。 設計期間：2～3ヶ月 申請期間：2～5ヶ月 工事期間：2～3ヶ月

32

6. 参考資料

6.2. 収支について①

	基本計画時点 (2022.10)		今回要求 (2023.11想定)		予算書 ※債務負担額
	事業費 =想定落札額	対応する予算計上額	事業費 =想定落札額 *基本計画時の109%	対応する予算計上額	
	落札率	計上額	落札率	計上額	
1. 整備工事費					
m単価 (円/m)	510,727	567,474	556,692	622,002	
総床面積 (m ²)	14,850	14,850	14,850	14,850	
事業費 (円)	7,584,289,808	90% 8,426,988,676	8,266,875,891	90% 9,236,732,839	9,237,000,000
上昇率 (%/12月)	--		109%	122%	
2. 工事監理費					
事業費 (円)	75,842,897	90% 84,269,886	82,668,758	90% 92,367,327	93,000,000
上昇率 (%/12月)	--		109%	122%	
3. 基本設計					
事業費 (円)	91,011,477	90% 101,123,863	91,011,477	90% 101,688,801	102,000,000
上昇率 (%/12月)	--		100%	112%	
4. 実施設計					
事業費 (円)	212,360,115	90% 235,955,683	212,360,115	90% 237,273,872	238,000,000
上昇率 (%/12月)	--		100%	112%	
5. 設計等支援業務					
事業費 (円)	82,000,000	100% 82,000,000	82,000,000	100% 82,000,000	82,000,000
上昇率 (%/12月)	--		100%	100%	
全体合計					
事業費 (円)	8,045,504,297	8,930,338,108	8,734,916,240	9,750,062,838	9,752,000,000
上昇率 (%/12月)	--		109%	121%	

33

6.2. 収支について④

今回の収支計画作成における与条件の変更点

※関連して変更になる項目は揭示していない。

変更項目			今回予算策定時	基本計画時	備考
医業収益	入院診療収益	急性期の病床数	60床	50床	
		維持期（医療療養）の病床数	40床	50床	
		急性期の単価 /床・日	@40,000円	@38,000円	下表参照（※）
		回復期の単価 /床・日	@38,000円	@37,000円	下表参照（※）
医業費用	人件費	病棟看護師の人件費 /年間	+ 10,500千円	--	急性期病床の10床増
資本的支出	企業償還額	工事費用の上昇	8,266,875千円	7,584,289千円	想定事業費 @557千円/m ² ←@511千円
		工事監理費の上昇	82,699千円	75,843千円	見込み額又は予算額に

（※ 急性期病床・回復期リハ病床の病床単価の最近の推移）

	急性期	平均	回復期リハ	平均	急性期	平均	回復期リハ	平均	
令和4年 2月	37,358	37,849	38,586	37,029	9月	41,128	41,664	40,502	
3月	38,609		38,597		10月	41,103	42,272		42,101
4月	36,482		35,816		11月	43,478	41,077		
5月	35,110		36,399		12月	43,380	37,167		
6月	39,468		35,761						
7月	38,010		37,356						
8月	39,904		36,690						

36

6. 参考資料

6.3. 各種準備事業について

	業務目的		
	工期	契約金額	進捗状況等
① 測量調査	新病院整備の受注者決定後、速やかに基本設計に取り掛かるために、受注者決定前に測量を実施する。		
	令和5年2月 1日 ~ 8月31日	8,470千円	現地測量を実施中。
② 地盤調査	新病院の受注者決定後、速やかに基本設計に取り掛かるために、受注者決定前から調査を実施する。なお、調査結果を受注者選定時に示すことで、受注者決定後の工事費（基礎・杭・液状化対策等に対する費用）増額のリスクを抑えることが出来る。 通常であれば、基本設計中若しくは基本設計後に調査することが多いが、1,上記リスク回避ができること、2,敷地の形状が細長く、送電線が架空しており、新病院の建設位置はある程度特定できることから、準備事業として実施する。		
	令和5年2月 1日 ~ 8月31日	12,686千円	実施中（No.1、No.2、No.3、No.4地点の速報値）
③ 井水調査	現・市立野洲病院では、年間約3.9万m ³ の水を使用しており、その内約2.3万m ³ （約60%）を井水で賅っている。新病院でも井水の使用を検討しており、その調査を事前に実施する。		
	令和5年3月27日 ~ 7月31日	7,260千円	電気探査を実施中。
④ 土壌調査	新病院整備場所の土地の使用履歴からは、おそらく土壌汚染の可能性は考えられない。ただし、土砂の搬出時には自然由来の汚染物質が確認される可能性がある。汚染物質があるとすれば自然由来のものであるということを事前に確認するために、準備事業として土壌調査を実施する。 なお、新病院整備中には多くの土砂が搬出されることになり、搬出する土砂に汚染が確認された場合（自然由来であっても）には、その処分費用が必要になると見込まれる。		
	令和5年1月20日 ~ 8月31日	539千円	資料の収集、集約中。

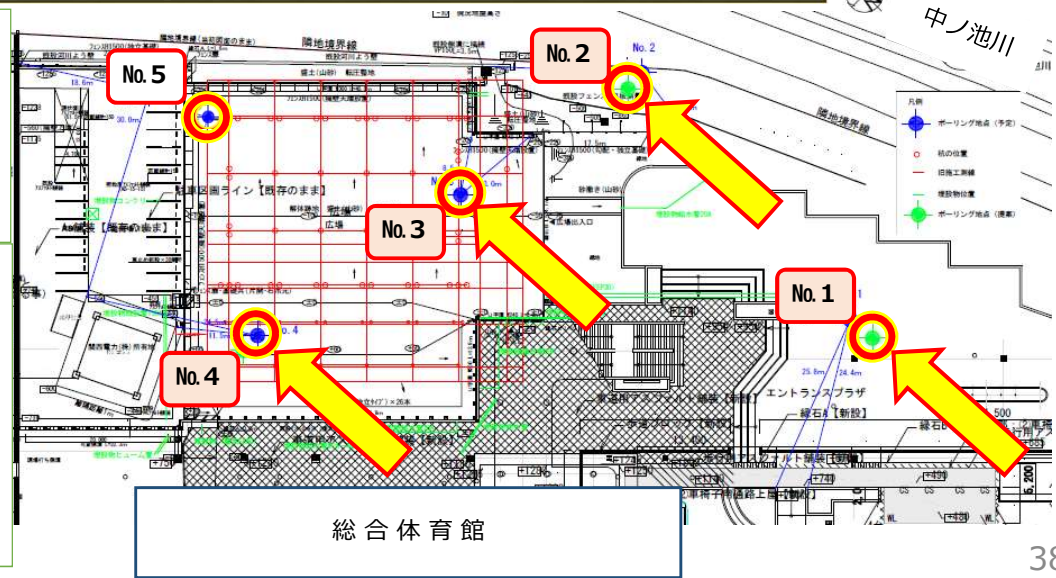
37

6. 参考資料

6.3.2 地盤調査結果について

- ・令和5年4月17日～5月下旬にかけて、5カ所のボーリング調査を実施。
- ・No. 1地点、No. 2地点、No. 3地点、No. 4地点の速報値は次の通りです。

なかよし交流館
体育館裏駐車場

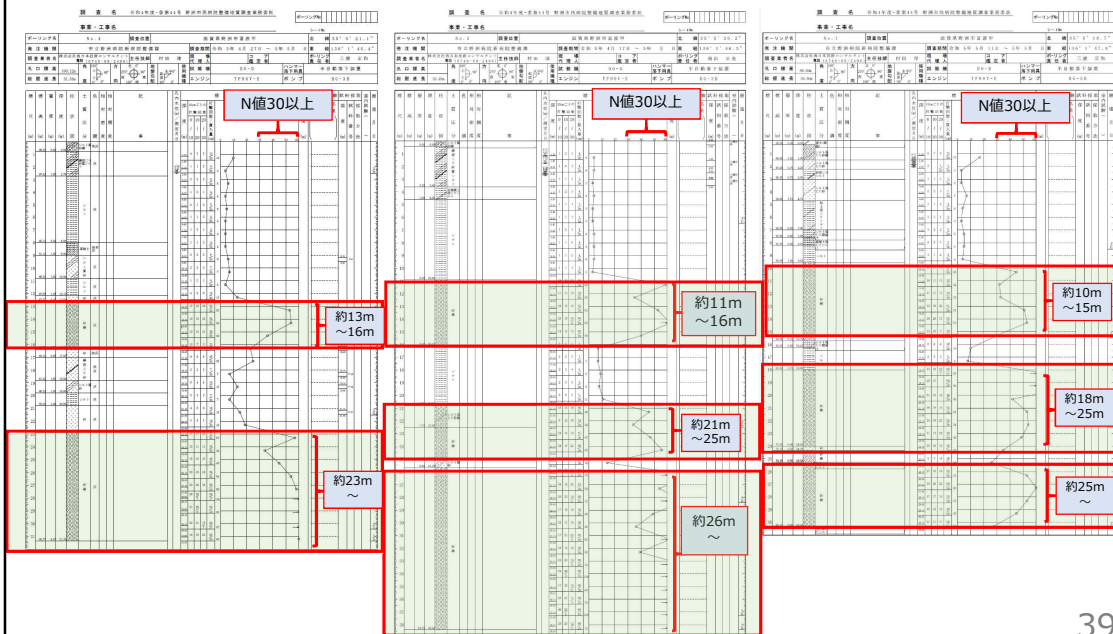


地質柱状図 (速報値)

No.4地点

No.3地点

No.1地点



No.3地点

No.2地点

